

FMまいづる出演高校生ヒアリング



FMまいづるの「10代・20代 舞鶴未来対談」や高校生が企画・運営するイベント「KARAYAB」に参加する高校生に、舞鶴の現状や舞鶴の未来の姿などヒアリングを実施。

日 時:2025年12月4日(木)

場 所:西市民プラザ

参加者:4名



FMまいづる「舞鶴未来対談」出演高校生ヒアリング結果

現状：舞鶴の魅力や課題等

1. **2つの異なる歴史：**東舞鶴と西舞鶴、それぞれ異なる歴史と雰囲気があるのが面白い。
2. **若者の居場所のなさ：**「遊ぶ場所（カラオケやモール）」がなく、放課後の選択肢が少ない。バンド活動の場など、学生が主役になる場所がない。
3. **交通の利便性の欠如：**公共交通機関（バス・電車）の便が悪く、自由な移動が制限されている。
4. **学生の外部連携の不足：**学校では、進学を重視する雰囲気があり、地域との連携活動がなく、学生の活動範囲が学校内で完結しがちで、地域への愛着やUターン志向が薄れる原因になっている。また、地元企業の接点もなく、地元企業への意識は希薄。
5. **若者の活動のバックアップ不足：**（KARAYABの活動について、）学生だけでは企業への協賛金集めは非常に厳しい。市や大人の「バックアップ」がなく、活動の信頼が得られていない。

未来：若者が戻りたくなるまちへ ～「何もないから出る」から「やりたいことがあるから帰る」へ～

1. **「人」と「機会」：**舞鶴にワイワイ交流できる「仲間」や活動を共にする「人」の繋がりがあることや、一時的でも帰ってきて活動したり、仲間と集まったりできる「機会（イベントや交流の機会）」の提供が必要。多少の不便さは気にしない。
2. **表現の場の創出：**若者が「表に立てる舞台」となるライブやイベントなどがほしい。
3. **学生同士の交流：**学生の視野を広げるためには、学校の枠を超えて、市内全域の高校生が繋がれる仕組みが不可欠。（例：中学校の生徒会交流のようなもの）
4. **外部との接点増加：**高校生が外部の人と繋がる機会を増やし、地域活動への参加を促進する必要がある。
5. **学生活動への支援：**大人世代に学生の自発的な地域活動（例：「KARAYAB」など）を信用してもらうため、市などに公的に支援してほしい。
6. **老後の懸念：**長期的には、高齢化に伴う車の運転不可などを考えると、公共交通機関などの不備は懸念。